

「好中球優位の胸水を呈する結核性胸膜炎の臨床的特徴に関する検討」

に關係する患者さまへ

国立病院機構近畿中央呼吸器センターでは結核性胸膜炎の患者さまに観察研究を行っています。

1. 研究の対象

2007年4月1日から2023年8月31日までの間に国立病院機構近畿中央呼吸器センターにおいて結核性胸膜炎と診断された患者さまが対象となります。

2. 研究目的・方法

胸腔というところに胸水が貯留して、穿刺あるいはドレナージという処置を受けた患者様の白血球分画のうち、好中球の割合が多い人の臨床的な特徴を検証することを目的としています。患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。新たにご負担をおかけすることはありません。利用するカルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、血液検査データ、胸部が像検査データなど。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「4. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。プライバシー・個人情報保護法に基づいて対象患者の名前や住所などプライバシーにかかわる事項や個人を特定できるような試験結果は一切公表しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

■照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター 感染予防研究室長 倉原 優

TEL. 072-252-3021

FAX. 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

（当院ホームページに掲載）